

## 28年2月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年 2月1日～ 28年2月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
2月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
入荷動向	スギ	33.3	40.0	0.0
	ヒノキ	25.0	25.0	0.0
	カラマツ	33.3	40.0	20.0
	トドマツ	66.7	66.7	0.0
消費動向	スギ	50.0	40.0	0.0
	ヒノキ	25.0	25.0	0.0
	カラマツ	16.7	20.0	0.0
	トドマツ	33.3	33.3	0.0
在庫動向	スギ	16.7	20.0	20.0
	ヒノキ	25.0	25.0	25.0
	カラマツ	16.7	20.0	20.0
	トドマツ	66.7	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ及びトドマツ原木の入荷は2月、3月の増加が、4月は横ばい。カラマツは3ヵ月連続して増加。

・スギ、ヒノキ、カラマツ及びトドマツ原木の消費は2月、3月の増加が、4月は横ばい。

・スギ、ヒノキ及びカラマツ原木の在庫は3ヵ月連続して増加。トドマツは2月の増加が、3月、4月は横ばい。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/2月	3月	4月
スギ	16.7	20.0	20.0
ヒノキ	25.0	25.0	25.0
カラマツ	40.0	50.0	50.0
米マツ	0.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	△ 33.3	△ 33.3	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ及びカラマツの原木価格は強含みで推移。米マツ及びその他は3ヵ月連続して横ばい。北洋カラマツは2月、3月の弱保合が、4月は横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・冬季に入り、トドマツ伐採時期で入荷増となる。
- ・先月カラマツの価格を上げたことで安定した入荷となった。生産を見ながらの消費、在庫はほぼ横ばい。
- ・入荷は順調。生産増によりスギ材の消費を増やしている。先月と同様、原木土場に余裕はない。
- ・先々を見込んでカラマツ主体に集材。消費は1月以降減少。カラマツのみ入荷増、消費減少で在庫増。
- ・全品種計画通り入荷しているも、今後カラマツ材の入手は激化ムード。計画通りの消費。在庫はほぼ横ばい。
- ・1月は雪の影響で入荷が悪かったが、2月以降、天候回復で増えてくる。気温上昇と共に生産量（乾燥量）が増えてくる。2,3月と消費も増える。スギ、ヒノキ共に在庫は意識して増やして行く。

## (原木価格)

- ・国産材は横ばい、米マツは横ばい、北洋のカラマツ丸太が港に集材できていない。
- ・カラマツが取り合い、今後バイオマスが動き出せば更に影響あり。
- ・国産材は横ばい維持。
- ・国産材のみ強含み。
- ・品薄感が見られるカラマツ材が今後上昇する可能性あり。
- ・出材時期だけに価格は横ばいで行きたい。ヒノキに関しては、集材状況次第では価格を上げて対応する。

## 28年2月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
生産動向	構造用(9mm)	33.3	20.0	0.0
	〃 (12mm)	57.1	33.3	16.7
	〃 (15mm)	14.3	16.7	0.0
	〃 (24mm)	28.6	33.3	0.0
	〃 (28mm)	28.6	16.7	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	20.0
	〃 (12mm)	28.6	16.7	33.3
	〃 (15mm)	0.0	0.0	16.7
	〃 (24mm)	28.6	0.0	16.7
	〃 (28mm)	14.3	0.0	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 28.6	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 28.6	△ 16.7	0.0
	〃 (28mm)	△ 14.3	0.0	0.0

・合板の生産は、9mm, 15mm, 24mm及び28mmは2月、3月の増加が、4月は横ばい。12mmは3ヵ月連続して増加。

・合板の出荷は、9mm及び15mmは2月、3月の横ばいが4月は増加。12mmは3ヵ月連続して増加。24mm及び28mmは2月の増加が3月横ばい、4月は増加。

・合板の在庫は、9mm及び15mmは3ヵ月連続して横ばい、12mmは3ヵ月連続して減少、24mmは2月、3月の減少が、4月は横ばい。28mmは2月の減少が3月、4月は横ばい。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/2月	3月	4月
構造用(9mm)	50.0	0.0	20.0
〃 (12mm)	57.1	0.0	16.7
〃 (15mm)	42.9	0.0	16.7
〃 (24mm)	57.1	0.0	16.7
〃 (28mm)	42.9	0.0	16.7

・合板の出荷価格は、全品目ともに2月の強含みが、3月は横ばい、4月はやや強保合。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・15mm, 24mmの生産を多少減らし、12mmをその分増加。先月より新規受注の勢いが無いが受注残があり、出荷は順調。月末在庫は全品目少なく、生産分を全部出荷予定なので在庫は低水準での横ばい。
- ・在庫少なく不足分は生産。出荷は去年よりは落ち着いてきたが、まだ引き合い多い。今後多少の在庫を持ちたいが、変わらずか。
- ・12mm, 24mmの生産増を見込んでいる。
- ・少量生産なので変化なし。
- ・計画に沿って生産、出荷は生産に対し約1割の増加、在庫は3月末頃まで減少傾向が継続すると思われる。
- ・在庫量減少のため発注状況に合わせて生産。全ての製品で買いが入っているが、生産量に合わせた出荷量となる。先月同様、引き合い多く、在庫は増える状況にない。

## (合板価格)

- ・全品目単価を10～20円/枚値上げ。
- ・今月から値上げ。
- ・落ち着いている。
- ・小さな値動きがあるもののほぼ横ばい。
- ・安定的な出荷を図りながら、今後の価格上昇に期待。